

平成26年度長成地区まちづくり集会開催記録（概要）

◎日 時 平成26年9月6日（土）15：30～17：30

◎場 所 長府公民館 第3研修室

◎出席団体数 16団体

長府東部自治連合会、長府小学校PTA、長成中学校PTA、民生・児童委員協議会（長府東地区）、長成校区青少年育成協議会、長府小見守り隊（才川一丁目自治会）、青少年補導員、長府地区保健推進委員会、長府豊城地区サポート隊、四王司山愛好会、更生保護女性会、忌宮神社珠々会、食生活改善推進協議会、長府満寿会第6クラブ、下関地区漁協女性部連絡協議会、長府婦人会

◎市出席者 市長 中尾友昭

総合政策部政策調整監：星出恒夫 総合政策部部次長：田中光太郎

総合政策部地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也

長府支所長：久保田洋一

◎傍聴者 4名

◎次第

1	開 会	15：30
2	市長講話（私が考えるあらたなまちづくり）	15：30～
3	あらたなまちづくりに関する意見交換	15：45～
4	下関市住民自治によるまちづくり推進計画（素案） 及び全体スケジュールの説明	16：00～
5	推進計画（素案）及びスケジュールに関する意見交換	16：40～
6	閉 会	17：30

◎まちづくり集会開催の目的

住民自治によるまちづくりを推進するため、その基本となるまちづくり推進計画の策定等に関し、広く地域住民の意見を聴取する場として、それぞれの地域において「まちづくり集会」を開催します。併せて、それぞれの地域における住民等のまちづくり活動に対する機運の醸成を図ることを目的としています。

◎まちづくり集会開催

開式のことば
出席者紹介



◎市長講話

私が考えるあらたなまちづくり
～別紙：市長講話の概要参照～

◎あらたなまちづくりに関する意見交換

参加者 クジラの振興についてはいかがが。

市長 後日、クジラ世界 IWC 会議に代表団の一人として参加する。

クジラが食べる水産資源は、人類が食べる量の3倍から5倍と言われており、バランスを適正に保つ必要がある。このため、数が増え過ぎているミンククジラを適正に捕獲しようとしている。是非、捕鯨船が、下関に寄り下関から加工肉を全国に発送したい。学校給食にも、全国一のレベルで提供している。

参加者 自治会運営で一番困っているのは、世話役の高齢化である。若い人の自治会活動への参加については、企業も関与する必要がある。市役所や消防、警察も地域の住民として積極的に関与されたい。特に、市職員は、地域に根を張っていくよう指導願う。

市長 市の職員が、退職後自治会長になっている例は多い。現役でも、地元では地域の仲間であるため、自らが参加するように機会あるごとに伝えている。企業との関わりについてはサポート職員もつき、仲立ちをするため、是非、やってもらいたい。社長さんから、社員に対し地元の活動を手伝うなどの働きかけを願いたい。

参加者 なぜ、私のような高齢者が、今日の集会に参加しているのか。

市担当 今日、集まっていたいただいた方が、そのまま組織づくりのメンバーになるものではないが、できるだけ多くの方に集まっていたくとして、自治連合会長や支所長との協議で選んだ。

◎下関市住民自治によるまちづくり推進計画（素案）及び全体スケジュールの説明

～別紙：説明概要及び説明資料参照～

◎推進計画（素案）及びスケジュールに関する意見交換

参加者 地域行事の実行委員等として協力しているが、今日の参加者は、どの場でも出てこられる方である。既存組織と、新たな組織の立ち位置が分からない。

市担当 既存の組織はそのまま活動を継続していただき、単体では、なかなか解決がつかない課題について、市の職員も一緒になり、もう少し広い範囲で、違う視点から解決する体制です。

参加者 自治会は、まちづくり協議会の指導を受けて活動をするのか。位置関係で言え

ば、協議会が上で自治会が下になるのか。今後のスケジュールで、協議会設立の規約等は、全く白紙で進むのか、それとも、素案が示されるのか。合わせて、50～60歳代の人材育成を進めていかないと、将来的に支障が出ると思う。全市の組織数は22になるのか。長成は、自治会が22ある。推進計画に示されている組織図は、独自のものをつくっても良いのか。規約も、独自の内容を反映しても良いのか。

市担当 まちづくり協議会と自治会は対等の関係である。ネットワーク組織で、自治連合会はその中のひとつの組織である。自治連合会の活動は今までどおりで、助け合いのもとで、新しい取り組みを行うものとして認識願いたい。設立準備会の立上げについては、例や規約のひな形を示す。あくまでも、ひな形で、独自のものでも構わない。

人材育成は重要な問題であり、大変、難しい。役員が同じ人で重なったり、自治会長によっては1年で交替する所もある。市長も人材育成が大事と言っており、今年から市立大学で開催する未来大学に33人程度、20代から70代が受講され、活発に議論が行われている。

できれば、受講後は、地域に飛びだしていただくよう声掛けをしたい。

人材育成と同時に人材発掘が必要である。次は、私がやろうというムードづくりや、定年退職者の地域貢献、地域がうまく受け入れる雰囲気づくりが必要。企業にも声をかけて欲しいし、市も企業の関わりについては重視している。まちづくり協議会の数は、基本的に中学校区の22であるが、地域によっては、歴史的なつながりで、複数中学校区で一緒にやりたいというところもあり、17地区で提案する。中には、支部でやりたいというものもあり、4町は農業部会もあるため、地域の特色の中で、独自のものを考えてもらいたい。

参加者 3年前に、高齢化率が上昇する懸念の中で、何かすぐにできることはないかとして、サポート隊を立ち上げた。終の棲家として、ここで最期を迎え良かったと思えるような目標を掲げている。3年経過して感じることは、高齢になると何かと、介護施設、市の福祉政策課、社協等々、お世話になる機会が多いが、お世話をする側としては、ひとつずつに相談することに抵抗がある。今回のまちづくり構想は、そういった縦割りをコーディネートすることや、地域全体をまとめていく包括的なまちづくりをイメージしているがいかがか。

市担当 サポート隊は、非常に進んだ取り組みである。市も、縦割り行政を改善すべくサポート職員を配置し調整していく。社協とも連携をするが、地区でネットワークが形成する中で、コーディネータが育って行って欲しい。それまでは、地域サポート職員がその役割を担うと思う。

参加者 10年経ったら、75歳以上が半分以上になり危機的な問題だ。地域福祉の観点から、先進地の事例では、事業者や社協が核になって、ネットワークをつくり事業を進めているが、そこには、核になって動く部署や人が必要である。どこが核になるのかを地域で決めてくださいでは進まない。要は、自治会で解決できないところをまちづくり協議会の力で、さらに一歩行

動し、実行する協議会になると良い。

参加者 やり方によってはすごく大変で、中心になる方は、すごいエネルギーが必要だ。ただ単にネットワークを作りなさいでは難しい。自治連合会が中心になってやるということになると、今以上に大変になる。

他の地区はどうなのか。簡単なところから始めるということも考えられるが、専任が必要ではないか。

市担当 簡単なことではないが、必要があるとして、地域サポート職員をつけて一緒にやりましょうという提案である。組織を立ち上げて、キーマンが不在では活動が進まない。人口減少や高齢化が進む将来を見据え、今から考えていく必要があるが、始めから全てはできないが、できる所から始めることになる。縦割りの問題については、今から話し合いを進めていく中で、重なった部分の効率化を図る活動が出てくる可能性はある。

参加者 準備会を立ち上げて、何回も会議をするのか。

市担当 話し合いの中で、出来る所から始めていただくことになる。

参加者 協議会は、どういう形でやっていくのかなどのディスカッションをする立場で、自治会に周知されないと実行されない。広報誌だけの周知では、誰が実行するのか分からない。実行は誰が責任をもつのか、また、総会の決定事項は、自治会にどう伝わるのか。

市担当 今日は推進計画の説明で、ひとつの例を示した。今後の話し合いの中で、任務分担が必要であり、地区で決めるようになる。

参加者 サポート職員は、各地区に居住する職員を指名すると思うが、1名なのか。公務であると考えるが、時間外の要請もできるのか、また、職員を協議会の役員として充てることはできるのか。

市担当 制度は現在協議中である。人数、専任、兼任等は決まっていない。公務であるため、時間外、休日にも対応する。また、サポート職員とは別に、強制はできないが、ボランティア登録制度なども検討したい。

参加者 今日の集会の目的は何か。地域に戻って22自治会長に報告する必要がある。意見を推進計画に反映し議会に出すということは理解できるが、準備委員会をつくることや、発起人になることなどの心構えを願っているのか。雲の上のような話が多く、細かい話がしづらい。長成校区に協議会をつくっていく過程で核となるメンバーに入るなどの心づもりをする必要があるとの説明を聞いたという報告で良いのか。

市担当 今日は、現在、まちづくり活動をしておられる方に集まってもらい、推進計画を説明し意見を伺う会である。

他地区の集会で、推進計画を修正する必要がある意見があった。

17カ所の意見を反映し、パブリックコメントにかけていく。

準備会は、今日ご参加の方が即始めるということではないが、中心になっていただくお願いはしたい。長成地区もやろうではないかという盛り上がりの雰囲気をつくってもらいたい。地区割りは、長成地区で良いか。(異議なし)